

Governor's Monthly Letter

2025

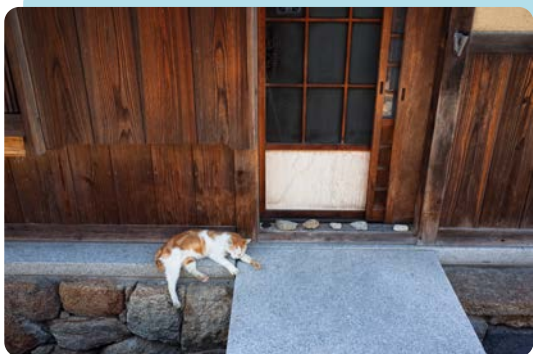
3

March

ガバナー月信

vol.9





3月号 今月の表紙 本島 笠島地区にて

島の表玄関、本島港から3kmほど離れた北東端に洗練された石畳の町並みがあるのをご存知だろうか。

今では猫がのんびり日向ぼっこをする静かなところだが、中世から塩飽の政治・経済の中心地として笠島城の城下町として発展した地域なのである。

見通しがきかないように曲げられた道やT字路といった特徴がみられるとともに、本瓦葺きに漆喰塗りの白壁や、なまこ壁に千本格子の窓など江戸末期から昭和初期にかけての伝統的な建物が残っており、香川県で唯一、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。

東西に伸びるメインストリートは「マッチョ通り」と呼ばれているが、塩飽水軍の力自慢が肩で風を切って闊歩していたから、という訳ではなく、町通り(町屋通り)が訛ってマッチョになったのだそうだ。

(月信担当幹事 塩田 等)

Contents

ガバナーあいさつ	ガバナー 夏見 良宏	3
2024-2025 寄付推進オフィサー(AGO)からの第3四半期メッセージ(2025年2月)		5
地元でのロータリー平和フェローシップの推進にご協力ください		6
ロータリー奉仕のニュースレター(2025年2月) インパクトについて理解を深めよう		8
文庫通信のご案内 390号 歴史と前回の規定審議会(2022年)の振り返り		10
[クラブだより] 高松南RC 首里城を3度救った男 鎌倉芳太郎 の沖縄顕彰碑除幕式と那覇南RC創立50周年記念式典		11
1月度 出席報告		13
受賞者一覧・物故会員		14

Governor's Message



職業奉仕×青少年奉仕×社会奉仕＝安藤桃子さん

国際ロータリー第2670地区 2024-2025年度 ガバナー 夏見 良宏 (丸亀RC)

向春の候。皆様にはいかがお過ごしでしょうか。早いもので今年度も残り4か月を残すのみとなりました。3月には織田ガバナー年度に向けて会長エレクト研修セミナー(PETS)や地区研修・協議会が予定されています。いよいよ次年度の準備が始まります。どうか、皆様宜しくお願ひ致します。

ところで、皆様は安藤桃子さんをご存じでしょうか？



©Tetsuo Kashiwada

映画監督 安藤 桃子 (あんどう・ももこ)

1982年、東京都生まれ。高校時代よりイギリスに留学し、ロンドン大学芸術学部を卒業。その後、ニューヨークで映画作りを学び、助監督を経て2010年「カケラ」で監督・脚本デビュー。14年に、自ら書き下ろした長編小説「0.5ミリ」を映画化。同作で報知映画賞作品賞、毎日映画コンクール脚本賞、上海国際映画祭最優秀監督賞などを受賞し、国内外で高い評価を得る。

「0.5ミリ」の撮影を機に高知県に移住。ミニシアター「キネマM」の代表や、子どもたちの未来を考える異業種チーム「わっしょい！」を立ち上げる。現在、NPO地球のこどものメンバーとして、全てのイノチに優しいをモットーに、子ども達との映画作りやアートなど、食育、自然、農を通じ、優しい地域の地場づくりを行なっている。

21年には、初のエッセイ集「ぜんぶ愛。」を上梓。23年11月、映画を通じて心と文化を伝える「キネマ ミュージアム」が高知市中心市街地にオープンするなど、多岐にわたり活動中。

安藤桃子さんは高知県に移住し、小学校で「映画づくりによる子ども達の映画を用いたうれしい・楽しい地域発展に向かって夢の実現」をテーマに、映画×教育×地域創生に取り組んでいます。11月17日に開催された「地球のこどもビジョンin南国土佐」でのシンポジウム“想像と創造”から安藤桃子さんのメッセージを紹介します。

“想像と創造”というキーワード

映画監督 安藤 桃子

映画作りは、想像したことを具現化するメディアです。脚本に書かれていることを表現して制作し、完成させる映画作りは「自己表現」や「将来への展望」「計画性」などを成長させてくれます。ゼロから生み出す経験は、感性の成長を応援し、夢を叶える力に大きく貢献します。映画の現場は社会の縮図そのものです。監督や撮影、録音、記録などさまざまな役割があります。それを子どもに置き換えると、人の話を聞くことが好きな子、自分から発信していくことが好きな子、動き回ることが好きな子など、誰が偉いわけではなく、それぞれの得意分野で力を合わせて、目標を一緒に持ったチームとして最後まで完成、上映会を目指します。その過程を通じて、子どもたちの感性を育てていきたいですし、子ども達にとっての地元という土地があってこそ、子ども達の視点から捉えた地域本来の良さや魅力を再発見できます。登場するのは地域の風景や人たちで、作品は一生残ります。子ども達も地域も元気になります。

安藤桃子さんの活動は、職業奉仕×社会奉仕×青少年奉仕です。安藤桃子さんは蝶であり、その活動は気象学者エドワード・ローレンツが言うところのバタフライエフェクトの初期値敏感性です。私たちロータリアンも一人一人が蝶となり、ロータリー活動を羽ばたかせることができれば、社会により大きなインパクトを与えることができるのです。

独りでは難しくても、その波及を願う人たちがつながれば、わずかな攪乱から新たな潮流を生み出せる力がロータリアンにはあります。そして、このつながりが、次世代への明るい未来につながるよう共に進んでまいりましょう。

安藤桃子さんには4月26日(土)に開催される地区大会「〈テーマ〉ロータリーで素敵なたつなごりを」での特別講演「安藤桃子×森 合音トークセッション」にご登壇いただきます。会員皆様のお参加を心よりお願い申し上げます。



特別講演

**安藤桃子 & 森 合音
トークセッション**

テーマ **すべてのイノチにやさしいwave**

四国を拠点に全国へ発信する素敵な女性二人のトークセッション！ 映画のこと、アートのこと、こどもたちのこと、四国のこと、素敵なたつなごりで結ばれたお二人のお話をお楽しみに！

2024-2025年度
国際ロータリー第2670地区
地区大会 **2日目**
本会議

日時 2025年4月26日(土)

受付 12:00 ~ **開会** 12:30 **閉会** 17:30

場所 レクザムホール(香川県県民ホール) 大ホール

2024-2025 寄付推進オフィサー(AGO)からの 第3四半期メッセージ

オンラインで見る →



2025年2月

地区リーダーの皆さま

平素よりロータリーの取り組みにご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。寄付推進オフィサーの近藤です。

早いもので本年度も残すところ5カ月となりました。PETS、国際協議会、国際大会が間もなく開催される今こそ、ロータリー財団への関心を高め、会員の皆さまの参加を促す絶好の機会となります。

PETSでは寄付額の多いクラブを紹介したり、最近のプロジェクトを紹介する準備をされているかと存じます。各地区の上半期の年次基金の寄付状況をまとめましたので、下半期の寄付推進や来年度の計画にお役立ていただけましたら幸いです。

お問い合わせなどございましたら、下記のお問い合わせ先からお願いします。



上半期(7~12月) 地区別 年次基金 レポート

本レポートでご確認いただけること

- 年次基金への寄付額／前年度比
- 一人当たりの年次基金寄付額
- 年次基金25ドル／100ドル以上の人数
- PHS会員数／潜在的PHS会員数
- 自動定期寄付設定数
- 年次基金寄付ゼロクラブ数

など

レポートを見る →



年次基金リソース



なかなか説明しにくい年次基金…そんな年次基金の説明用資料としてご活用いただけるものです。

- 年次基金とは？
- 年次基金 - シェアへのご寄付
- ご寄付のインパクト
- 個人の認証／クラブの認証

資料を見る →



お問い合わせ先



国際ロータリー日本事務局 財団室
寄付推進オフィサー (AGO) 近藤 かおり
Eメール: Kaori.Kondo@rotary.org

地元でのロータリー平和フェローシップ の推進にご協力ください

オンラインで見る →



ロータリー平和センター

Training local leaders to be effective catalysts for peace

平和と開発分野のリーダーをご推薦ください

2026年 ロータリー平和フェローシップ の申請書は、5月15日まで受け付けています。

クラブ会長ならびに地区役員の皆さま

平和と開発分野で活躍している人をロータリー平和フェローシップに推薦することで、世界平和の推進に貢献することができます。

ロータリーは毎年、多様な背景をもった平和構築者に、世界の一流大学にある平和センターで学ぶための全額フェローシップ（奨学金）を最大130口まで授与しています。今年、アジア、オーストラリア、ヨーロッパ、米国の六つの提携大学での 修士号プログラム のフェローを50名、ウガンダのマケレレ大学とトルコのパーチェシエヒル大学での 専門能力開発修了証プログラム では80名のフェローを選出します。



ロータリー平和フェローは、地元、地域、グローバルなレベルで、学んだ理論を実践に生かします。私たちは共に、地元の平和構築者にロータリーについて知ってもらい、この比類ないプログラムへの申請を奨励することで、平和を推進することができます。

ロータリアンとローターアクターは、人脈や地元の団体・機関とのつながりを生かして候補者探しを支援できます。 紹介フォーム を使用することで、申請に関する詳しい情報を候補者に送ることができます。



推進用グラフィックをご利用ください

クラブ、地域社会、各ネットワーク内でロータリー平和フェローシップを推進するために、さまざまなグラフィックをご利用ください。これらの画像は、さまざまなサイズで、複数の言語で用意されており、ニュースレターやソーシャルメディアで使用できます。また、 ロータリー平和フェローシップのページ、または 申請ページ へのリンクを提供することもできます。

推進用グラフィックの閲覧・ダウンロード





フェローシップを推進するその他の方法

フェローシップの [申請に関するお知らせ](#) を、友人や知人に転送し、クラブや地区のコミュニケーションにも含める。

[修士号プログラム](#) と [専門能力開発修了証プログラム](#) の推進用ポスターカードを使って、フェローシップの宣伝に役立てる。

平和フェローシップのページでリソースを見つける



ロータリー平和センターをご支援ください

寄付者やロータリー会員からの寛大な支援のおかげで、平和フェローシッププログラムの卒業生は1,800名を超え、140カ国以上で好ましい変化をもたらすために活躍しています。学友の多くは、緊要な課題に対応するため、独自の団体を設立したり、政府機関、非政府組織、教育・研究機関、平和維持機関や警察、メディアと芸術、UNICEF(国連児童基金)などの国際機関、国連、世界銀行、国際赤十字といった国際組織のリーダーとなって活躍しています。

平和フェローの推薦方法についての詳細は、地区ロータリー平和フェローシップ小委員会委員長に相談するか、rotarypeacecenters@rotary.org までご連絡ください。

平和への投資:グローバル平和推進地区になろう(PDF)



ロータリー平和フェローシップのFacebookページ



ロータリー奉仕のニュースレター 2025年2月 インパクトについて理解を深めよう

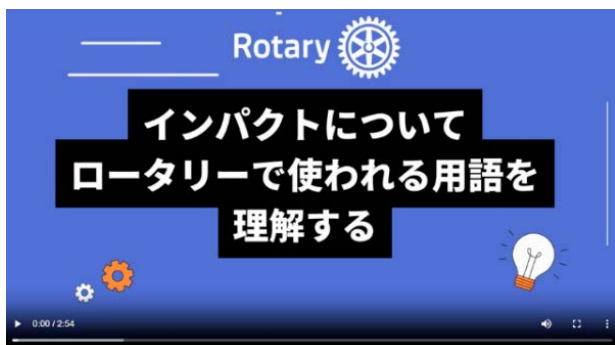
オンラインで見る



つながり、協力、そして奉仕

ロータリー奉仕・参加促進担当部

インパクトに関する用語についての動画



ロータリーでは奉仕プロジェクトのインパクトを説明するためにさまざまな用語が使われますが、それぞれ意味には違いがあります。インパクトに関する用語をより良く理解し、みんなが同じ用語を使えるよう、上の動画をクリックして用語の意味をご確認ください。

また、変化をもたらすプロジェクトを立案するために、[ロータリー インパクト ハンドブック](#) をダウンロードしてご利用ください。

奉仕部門：社会奉仕

ロータリー平和フェローシップの候補者を見つける

2026-27年度 [ロータリー平和フェローシップ](#) の申請書受付が開始されました。地域社会で平和と開発に積極的に取り組んでいる人をご存知の方は、世界各地の提携大学にあるロータリー平和センターのいずれかで修士号プログラムまたは専門能力開発修了証プログラムで学ぶための全額奨学金を [申請する](#) ことを奨励してください。イスタンブール(トルコ)にある最新のセンターへの申請も可能です。そのような候補者をご存知の場合、[紹介フォーム\(英語のみ\)](#) で情報をお寄せいただくこともできます。

2002年以来、1,800人以上の平和フェローがロータリー平和センターで学び、現在140カ国以上で平和構築、紛争予防、開発の分野で活躍しています。そのほかの情報は [ロータリー平和センターのフェイスブックページ](#) をフォローするか、rotarypeacecenters@rotary.org にお問い合わせください。

より大きなインパクトをもたらす

最大限のインパクトをもたらすために、ロータリークラブ・セントラルでクラブの目標を設定・管理しましょう。次の問いについて考えてみましょう：奉仕プロジェクトを通じて何を達成したいのか。成果をどのように記録し、毎年改善できるか。長期的なインパクトをどのように測定し、記録できるか。

答えが何であれ、[ロータリークラブ・セントラル](#) は目標を達成するために役立つツールとなります。目標への進捗を記録できるこのツールでは、3年間の目標を入力でき、クラブの将来のために戦略的に計画を立てることができます。詳しくは、ラーニングセンターの [ロータリークラブ・セントラルのリソース](#) のコースをご利用ください(ラーニングセンターをまだご利用になったことがない場合は、rotary.org/learn を開き、My ROTARY に登録またはログインし、プライバシーの方針に同意してください。その後、「ロータリークラブ・セントラルリソース」を検索してください。)

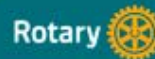
積極的なかわりを促す

奉仕部門功労者賞：会員の貢献を称えよう

ロータリー会員は、クラブや地域社会のために、見返りを期待することなく時間や労力、その他のリソースを捧げています。このような会員の努力を称え、感謝の気持ちを示しましょう。クラブ会長は、委員会への参加、活動におけるリーダーシップ、ほかの会員へのサポート、入会促進を通じたクラブの成長に貢献した会員を称えるために、年度を通じていつでも [奉仕部門功労者賞に推薦](#) することができます。推薦は地区ガバナーに送られ、ガバナーが審査し、決定します。すべての奉仕部門(地区による表彰)で表彰された会員がいる場合、ガバナーはその会員を [国際ロータリーによる奉仕部門功労者賞](#) の表彰に推薦することができます。



効果的な奉仕プロジェクトを計画するために
『地域社会調査の実施』ハンドブックをご利用ください



ブログから

奉仕のレベルアップを図る

仲間と一緒に地域社会に奉仕し、変化を生み出せることは、ロータリー会員だからこそ味わえる体験の一つです。すべてのクラブがグローバル補助金のような大きなプロジェクトを実施できるわけではないかもしれませんが、地区補助金など、より小規模の奉仕事業でも、小さな種が根を張り、実をつけ、再び芽を出すように、持続可能なインパクトを生み出すことができます。

続きを読む →



ロータリーのニュース

ロータリー年次報告をご覧ください

[最近の年次報告](#) で、昨年度のハイライト、変化を生み出している会員たちのインスピレーションあふれるストーリー、ロータリー財団寄付者の声などをお読みいただけます。

補助金モデルの評価：5年目のレポート

ロータリーの調査・評価担当部は、5年周期の補助金モデル評価を完了しました。評価の結果、会員(89%)はグローバル補助金に満足していることが分かりました。調査に参加した会員は、グローバル補助金プログラムが会員としての体験にとって重要であると感じており(92%)、大半の申請者がグローバル補助金を再度申請する意向を示しています。 [こちらのレポート](#) から、そのほかの重要な調査結果をご覧ください。

文庫通信のご案内 390号

歴史と前回の規定審議会(2022年)の振り返り

ロータリー文庫 | Japan Rotary Clubs Library



<https://www.rotary-bunko.gr.jp>



Rotary Clubs of Japan | Japan Rotary Clubs Library

お問い合わせ

🏠 ホーム

HOME

🔍 書籍検索

Search

📖 利用案内

Information

📖 よくある質問

FAQ

💬 文庫について

About us



文庫通信 390号：歴史と前回の規定審議会(2022年)の振り返り



- [ロータリーの歴史年表\(2024年10月30日改訂版\)](#) 諏訪昭登 2024 15P
- [特集 規定審議会その歴史](#) 友：2022・6月 6P
- [規定審議会レポート](#) 滝澤功治 友：2022・6月 4P
- [ロータリーのルール](#) 監修：規定審議会代表議員世話人代表
滝澤功治、曾我隆一 友：2022・4月 4P
- [組織規程を理解し変化に対応する](#) 小船井修一 D.2500地区大会報告書 2022 8P
- [2022年度規定審議会報告\(D.2790議事録抜粋・資料\)](#) 得居 仁 D.2790 2022 94P
- [今年の規定審議会から見てきた国際ロータリーの方向性](#) 滝澤功治 D.2690地区大会報告書 2022 3P
- [2022 COL 立法の海に沈む](#) 塚原房樹 2022 2P
- [議事録・翻訳作業を通して見た国際ロータリーの実情](#) 沼田 廣 D.2830地区協議会報告書 2021 3P

PDFの閲覧には「ユーザー名」「パスワード」が必要です。
ご不明の場合は、各事務所またはロータリー文庫にお問い合わせください。

〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目7番16号 第3小森谷ビル別館6階
TEL：03(3433)6456 FAX：03(3459)7506

クラブだより

高松南RC

2025
1/31
[FRI]

首里城を3度救った男 鎌倉芳太郎の沖縄顕彰碑除幕式と那覇南RC創立50周年記念式典

高松南RC 鎌倉芳太郎顕彰プロジェクト委員会 堀 祥二

鎌倉芳太郎(1898-1983)は、大正後期～昭和初期にかけて琉球の芸術文化と美を調査、研究し、膨大な資料を残し、それらが全て国の重要文化財(2005年)に、そして本人も琉球紅型研究者から製作者に転身し、人間国宝(1973年)に指定された香川県出身の偉人です。

鎌倉は香川県木田郡氷上村(現三木町)で生まれ、香川県師範学校から東京美術学校図画師範科に進み、沖縄県女子師範学校の美術教師として沖縄に赴任しました。

1921年から1927年の間、3期通算4年半沖縄に滞在し、まず首里城近くの座間味家(琉球高級士族)に下宿し、首里言葉をその家人から繰り返し聞き、ローマ字で記録することでマスターしました。末吉麦門冬をはじめとしたジャーナリスト、俳人、琉球王府最後の絵師、民族・言語・歴史学者やアメリカ帰りの写真家など多くの知識人、技術者と交わりながら調査、研究を進めました。その分野は首里城をはじめとした建築物、御後絵などの絵画、陶芸、漆芸、紅型の技術と型紙収集、民族、宗教、風物そして祭事など多岐にわたります。

2期目からは啓明会の援助を受け、最新のドイツ製写真機ダゴール一式を購入し、短期間でその写真技術を習得し、膨大な数のガラス乾板写真を撮りました。

また、首里、那覇のみならず、沖縄本島南部・北部、伊是名、伊平屋、奄美、久米、宮古、八重山、台湾へと調査域を広げました。

そして、数多くのガラス乾板をはじめとした写真資料、紅型資料、調査ノート、工芸品などを東京に持ち帰り、戦時中は防空壕に入れて保管し、東京中野の自宅は焼失しましたが、それらの資料は戦災を

免れました。

しかし1945年、沖縄は米軍による激しい艦砲射撃と地上戦の舞台となったことで、首里城をはじめとした数多くの歴史的文化財は跡形もなく破壊し尽くされました。

戦後、焼け野が原からの復興で注目を浴びたのが、唯一東京で保管されていた鎌倉資料だったのです。

1923年、第1期目の2年間の赴任から帰京し、東京美術学校に戻り、その研究資料を日本建築界の重鎮であった東京帝国大学の伊東忠太教授に見せたところ、高く評価され、それが第2期、3期の調査へとつながりました。

1924年、2期目の出発を間近に控え、在京沖縄青年会寄宿舎「明正塾」を訪れていた時に、届いたばかりの新聞に「近々首里城正殿が取り壊される」という記事を見つけ、伊東教授の研究室に駆け込み、解体の中止を訴えました。伊藤はその足で内務省に赴いて取り壊しを撤回させ、中止を命令する電報が沖縄県知事に送られました。(1度目の首里城救済)その後、首里城は国宝に指定されました。

首里城の再建では、正殿の詳細な写真や図面は、「平成の復元」(2度目)そして現在進行中の「令和の復元」(3度目)においても欠かすことができない重要な資料となっています。

また、失われた紅型技術の復興にも重要な役割を果たし、琉球王朝時代から続く伝統的な染色技法が、鎌倉が集めた型紙や記録が活用され、現代の紅型作家たちの手による再現が実現しています。

1986年、これらの鎌倉資料(ガラス原板1,229点・台紙付き写真851点・調査ノート81点・紙焼付写真

2,952点・紅型資料2,154点など合計7,512点)は、首里城に隣接する沖縄県立芸術大学の開学に合わせて同大学に寄贈され、附属図書・芸術資料館の地下室に保管されています。そのすべてが国の重要文化財に指定されています。

高松南RCは今から約17年前の2007年に、10数名の会員家族で、県立芸大に保管されている鎌倉資料を初めて見学させてもらい、その素晴らしさに感銘を受けました。その時に、那覇南RCとの交流が始まり、以後合同で鎌倉の顕彰活動を行うようになり、2008年には友好クラブ関係を築きました。

2010年に鎌倉芳太郎顕彰会(会長 佃 昌道 高松南RC会員)が鎌倉の生家近く、三木町山大寺池畔に顕彰碑を建立しました。これが引き金となり、沖縄にも顕彰碑を、という機運が徐々に高まりました。

その後、県立芸大から、附属図書・芸術資料館前の首里城に上る公道に面したところに沖縄顕彰碑建立用の場所提供の提案があり、那覇南RCクラブメンバーを中心として鎌倉芳太郎沖縄顕彰会が発足し、同会長には鎌倉研究の第一人者である波照間永吉芸大名誉教授を選びました。そして、同会は県内で広く会員を募ると同時に、芸大関係者の協力を受け、何度も香川に足を運び、業者を選定し、波照間先生の碑文を茅原南龍氏の揮毫により庵治石に刻みました。顕彰碑の石は、波多野 泉 芸大学長や那覇南RCメンバーらが高松市庵治町の大丁場に実際に足を運び、いくつかの候補の中から選んだ庵治石を、そして土台には沖縄の久米石を使用しています。

1月31日に行われた除幕式には香川からも鎌倉芳



太郎顕彰会および三木町関係者、高松南RCメンバーなど30名を超える参加がありました。

鎌倉芳太郎のご縁で、沖縄と香川のロータリークラブが中心となって、その功績を末長く伝えることができる顕彰碑が建立され、両県県民による今後さらなる交流が続くことが期待されます。

除幕式で挨拶した三木町長の話の中に、今春、三木中学校3年生の沖縄への修学旅行で、生徒全員がこの顕彰碑を見学することも盛り込まれていました。

除幕式の模様は同日にQAB琉球朝日放送、RBC琉球放送とKSB瀬戸内海放送でテレビ放映され、2月1日の沖縄タイムス、琉球新報と四国新聞に記事が掲載されました。

また、那覇南RCは1975年1月創設で、本年50周年を迎えました。クラブではこの顕彰碑建立を50周年記念事業の1つと位置づけ、除幕式を先頭に立って挙行するなど、大忙しでした。

また、その日夕刻から開催された創立50周年記念式典・祝賀会では、除幕式の模様も伝えながら、和やかな中にも格調高く、ハワイ、台湾、国内5つの友好クラブからも多数出席があり、総勢180名を超えるロータリアンとその家族で盛大に祝いました。



1月度 出席報告

分区	クラブ名	出席率 (%)	1月末 会員数	首比増減	1月末 女性会員数	例会数
高知第Ⅰ分区 7RC	安芸	88.41	20	0	2	4
	中芸	95.65	12	0	0	2
	香長	90.00	10	-1	0	2
	高知中央	71.93	47	1	1	3
	高知東	100.00	54	-2	6	4
	高知南	87.58	86	2	13	4
	高知ロイヤル	89.47	22	0	3	3
高知第Ⅱ分区 8RC	高知	88.79	85	0	10	4
	高知西	86.69	74	2	3	4
	高知北	83.87	36	2	3	1
	中村	90.91	59	0	7	4
	四万十	80.00	10	-2	1	3
	仁淀	45.83	13	-1	2	2
	宿毛	52.88	30	1	3	4
須崎	62.50	16	1	0	2	

分区	クラブ名	出席率 (%)	1月末 会員数	首比増減	1月末 女性会員数	例会数
愛媛第Ⅰ分区 9RC	今治	100.00	49	0	2	3
	今治北	93.44	21	0	1	3
	今治南	100.00	66	2	0	4
	伊予三島	91.67	33	0	1	3
	川之江	93.88	49	3	0	4
	新居浜	100.00	67	-1	2	4
	新居浜南	70.91	20	2	3	3
愛媛第Ⅱ分区 10RC	西条	98.78	28	1	1	3
	東予	98.13	27	0	2	4
	伊予	82.81	32	2	1	4
	道後	71.59	30	0	1	3
	松山	66.90	71	5	7	4
	松山東	78.57	24	2	0	3
	松山北	87.80	28	-1	2	3
	松山南	89.00	50	-1	5	2
	松山西	77.03	21	0	2	4
	大洲	82.35	29	0	2	3
宇和島	90.74	18	0	2	3	
八幡浜	75.00	22	1	1	3	

分区	クラブ名	出席率 (%)	1月末 会員数	首比増減	1月末 女性会員数	例会数
徳島第Ⅰ分区 10RC	徳島	93.60	80	3	4	2
	徳島東	86.92	53	1	2	3
	徳島北	66.67	29	-1	7	3
	徳島プリンス	87.33	72	2	11	3
	阿南	68.24	51	1	3	3
	阿南南	76.52	46	1	0	3
	小松島	86.76	17	0	0	4
	小松島南	56.94	18	1	0	4
	阿南中央	73.81	17	0	3	3
	徳島眉山	78.95	8	-3	1	2
徳島第Ⅱ分区 11RC	阿波池田	65.85	41	0	1	4
	御所	74.04	28	1	5	4
	鴨島	77.24	46	1	5	3
	鳴門	57.45	48	2	5	3
	鳴門中央	73.73	35	0	2	4
	徳島中央	75.00	26	-1	5	4
	徳島南	75.63	40	4	3	4
	徳島西	85.71	36	2	8	2
	脇町	73.65	37	-1	2	4
	阿波徳島	45.83	16	-1	1	3
美馬	54.63	27	1	4	4	

分区	クラブ名	出席率 (%)	1月末 会員数	首比増減	1月末 女性会員数	例会数
香川第Ⅰ分区 10RC	さぬき	64.58	17	0	0	3
	東かがわ	91.89	25	0	3	3
	小豆島	82.22	31	-1	2	3
	高松	100.00	82	-1	9	4
	高松中央	86.32	34	2	0	3
	高松グリーン	88.57	36	1	5	2
	高松東	100.00	49	2	5	3
	高松北	90.18	80	-1	7	3
	高松西	70.43	42	6	2	3
	高松南	78.20	60	2	3	3
香川第Ⅱ分区 8RC	観音寺	90.48	42	-3	4	4
	観音寺東	81.16	25	-2	2	3
	琴平	86.36	11	2	0	4
	丸亀	72.22	47	-1	3	3
	丸亀東	55.49	41	-2	3	4
	坂出	93.24	38	0	1	4
	坂出東	85.05	67	0	10	1
善通寺	87.32	39	3	0	4	

	出席率 (%)	1月末 会員数	首比増減	1月末 女性会員数
73RC合計	80.84	2,796	38	220

受賞者一覧

ロータリー財団 メジャードナー



松田 高明
高知南RC



前田 隆史
普通寺RC



久保 仁
今治南RC



田窪 孝和
今治南RC



岡田 俊三
今治南RC

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



永井 淑
東予RC



芥川 雅旨
東予RC



渡部 英志
東予RC



武田 信二
東予RC



岡本 哲典
東予RC

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



市原 行富
高松東RC



赤松 昭信
高松北RC



葛西 慎二
高松北RC



田所 修二
高松北RC



吉見 好博
高松北RC

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



赤瀬 京子
高松北RC



池上 元広
高松北RC



橋本 登
高松北RC

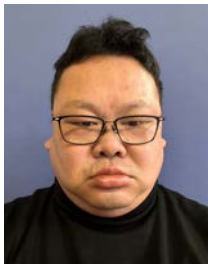


武田 健一
東予RC



山村 亨二
高松東RC

ポール・ハリス・フェロー



岡内 誠司
高松北RC



花房 伸
高松北RC



久本 義展
高松北RC



高橋 秀通
高松北RC



下谷 和範
普通寺RC

ポール・ハリス・フェロー

マルチプル米山功労者



佐野 博三
高知東RC



山本 昌司
今治南RC

米山功労者



相原 正樹
今治南RC



Information

ガバナー事務所から情報配信いたします

是非、ご登録いただきますようお願いいたします。



公式サイト



ガバナー月信編集委員会からのお知らせ

ガバナー月信はネット配信となっています。
ガバナー事務所のHPで月信の閲覧およびダウンロードをお願いします。



<https://www.rid2670.jp>

記事投稿のお願い

ガバナー月信は、地区ガバナー事務所と会員の皆様との情報共有ツールです。
日頃の奉仕活動等をご下記へお送りください。

宛先



monthly2425@rid2670.jp

締切

毎月15日

物故会員の連絡について

クラブ名、氏名、逝去年月日、年齢と顔写真(画像ファイル名=氏名)をお送りください。

受賞者紹介について

所定のExcelファイルにクラブ名、氏名、受賞種別を入力の上、顔写真(画像ファイル名=氏名)をお送りください。

出席報告について

毎月最終例会後、翌月15日までにガバナー事務所までメールまたはFAXでお送りください。

クラブの行事や活動状況等について

原稿と写真を添付の上メールでお送りください。

Rotary
第2670地区



国際ロータリー第2670地区 ガバナー事務所

E-mail : info2425@rid2670.jp

国際ロータリー第2670地区ガバナー月信編集委員会 地区代表幹事：和泉 清憲 / 担当幹事：塩田 等

〒763-0024 香川県丸亀市塩飽町48-1 丸亀プラザビル5F TEL : 0877-35-8382(080-2553-7208) FAX : 050-3171-2778